

2013 広域避難者支援ミーティング in 東京

ぐんま暮らし応援会 の被災者支援活動

平成25年7月11日(木)

ぐんま暮らし応援会

運営委員会 運営委員長

西川 正

本日のトピック

1. 群馬県の避難状況
2. 支援団体の動き
 - (1) 群馬司法書士会の取り組み
 - (2) 高崎市社会福祉協議会の取り組み
 - (3) 認定NPO法人じゃんけんぽんの取り組み
3. ぐんま暮らし応援会について
 - (1) 設立趣旨／活動概要
 - (2) 団体概要
 - (3) 活動から見えてくる課題
 - (4) 今後の活動方針

福島県からの群馬県避難者数

群馬県内登録避難者 **1,663**人

【内訳】

避難所(公民館、学校等)	…	0人
旅館・ホテル	…	0人
その他(親族・知人宅等)	…	214人
住宅等(公営・仮設・民間・病院含む)	…	1,449人

(復興庁調査 平成25年6月5日現在)

福島県からの群馬県避難者数

県外からの避難者受入状況 (平成24年10月31日現在)

市町村名	人	市町村名	人	市町村名	人	市町村名	人
前橋市	251	藤岡市	48	長野原町	1	昭和村	1
高崎市	340	富岡市	27	嬭恋村	2	みなかみ町	2
桐生市	66	安中市	26	草津町	9	玉村町	5
伊勢崎市	141	みどり市	26	高山村	8	明和町	42
太田市	271	吉岡町	12	東吾妻町	3	千代田町	25
沼田市	66	甘楽町	18	片品村	13	大泉町	51
館林市	148	中之条町	21	川場村	0	邑楽町	5
渋川市	35						

(群馬県総務部危機管理室 2013.6.5 現在)

群馬県司法書士会の取り組み

群馬司法書士会は、3.11震災後

1週間で震災対策本部を立上げ、具体的活動の議論を重ねた。

1. 避難所の巡回訪問

平成23年4月～8月 (片品村・草津町・東吾妻町等)

2. 群馬司法書士新聞震災対策特別号発行

平成24年5月～ 避難者に対する情報提供が目的 19号まで発行

3. 福島県内の仮設住宅の訪問

平成23年9月～ 福島県内の仮設住宅の巡回訪問(1年かけ大半を訪問)

4. 集いの会の参加

平成24年2月～ 認定NPO法人じゃんけんぽん主催「集いの会」に参加
現在「ぐんま暮らし応援会に」法的支援メンバーとして会員となる。

高崎市社会福祉協議会の取り組み

1. 被災地職員派遣（災害VC運営支援・介護支援活動・手話通訳）

H23年4月1日～7月16日まで 全9回

福島市・岩手県山田市・宮城県名取市・南相馬市

2. ボランティアバスの運行（がれき撤去・分別・側溝清掃等）

H23年6月16日～6月30日まで 全3回 延べ80名参加

いわき市久之浜町末続・いわき市平豊間字下町・いわき市四倉町東

3. ボランティア相談・コーディネート

(1) 被災地や市内、県内で活動を希望するボランティアへ情報提供

(2) 避難者相談活動 (3) 義捐金受入 (4) ボランティア活動保険受付

4. 高崎市で大規模災害が起きたときの対応

認定NPO法人じゃんけんぽんの取り組み

1. 集いの会の開始

H23年12月7日～ 「近隣大家族」で福島県からの避難者が対象
毎月「近隣大家族」で交流会を開催

2. 福島県地元紙の常設

H23年6月17日～福島民友・福島民報が福島県災害対策本部から配布

3. 群馬司法書士会との連携

H24年3月15日～ 「集いの会」の参加を傾聴・相談にのって頂きました。

4. 高崎市との連携

H24年5月31日～ 高崎市防災安全課と連携し市役所で集いを開催
他のNPOや社協等も協力し、支援団体としてまとまろうという動きになる。

5. 現在、毎月高崎市役所にて、「集い」を開催

H24年9月14日 「ぐんま暮らし応援会」設立

ぐんま暮らし応援会設立

《設立目的》

東日本大震災および東京電力福島第1原子力発電所事故により群馬県内に避難している被災者・避難者支援のために活動する群馬県内のボランティア団体・NPO・NGO等の民間非営利団体や社会福祉協議会の活動を支援し、避難者に対する各種支援の実施及び情報の提供、支援者間の情報共有・連携の促進、支援者と自治体・企業・教育機関等との協力・連携の促進、支援者が効果的に活動できるための支援を行うことを目的とする。

ぐんま暮らし応援会活動状況

《具体的活動内容》

1. 避難者支援員の訪問実施事業

2. 「交流会」開催事業

3. 「ミニ交流会」開催事業

4. 「総合相談会」開催事業

5. 支援者会議支援事業

6. 専門職員の配置

各団体が集結し暮らし応援会へ

- 福島県生活環境部避難者支援課
- 群馬県司法書士会
- 群馬県社会福祉協議会
- 高崎市社会福祉協議会
- 群馬社会福祉士会
- 精神保健福祉士会
- 地域密着型サービス連絡協議会
- 高崎市ボランティアグループ連絡協議会
- 中央キャリアネット(株) (群馬県委託就労支援)
- (株)パソナ(福島県委託就労支援)
- その他NPO 団体等

集いの会の様子(初動機)



集いの会活動当初 2012年4月12日

高崎市役所集いの会の様子①



集いの会活動当初 2012年9月23日

高崎市役所集いの会の様子②



集いの会の様子 2012年10月21日

地区別懇談会の様子①

(地元浪江町行政職員参加)



前橋市司法書士会館集いの会の様子 2013年3月10日

地区別懇談会の様子②



前橋市避難者宅での集いの会の様子 2013年5月20日

事務所での茶話会の様子



ぐんま暮らし応援会事務局での茶話会の様子 2013年2月27日

集いの会の中で避難者から聞こえてくる声

朽ち果てていく自宅をみると辛くなる。



一軒屋から、アパート暮らしに変わって、窓が少ない、プライベート空間がないなど、ストレスを感じ慣れるまでには時間がかかった。

集いの会の中で避難者から聞こえてくる声

福島県の今後...

震災から2年が経ったが、具体的にはどうなっているのか？

いずれは帰りたいと思っているが、
今後の方針が全く聞こえてこないのも
更に生活の見立てが建てられない。どうしたらよいのだろう...



集いの会の中で避難者から聞こえてくる声

今までの培ってきた地域住民との関係性等、
人生のすべてを失ってしまった。



前向きにならなければと感じているが、
そうできない自分がある。

集いの会の中で避難者から聞こえてくる声

国や東電もそうだが、
土地・家屋に対して保証がはっきりしない、

具体的な国の方針が見えてこない

具体的な情報がタイムリーに届かない

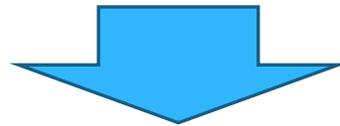
状況について

不安、苛立ち...



今後の活動方針

- 交流会の拡大と避難市町村地域ごとのミニ交流会を実施
- 参加できない方の訪問支援活動... 訪問支援員(避難者による)
- 往復ハガキによるアンケート調査
- 支援者団体会議の開催



- 時間の経過と状況変化に対応しつつ、その時毎に必要な支援を柔軟に継続的に実施することが重要
- 避難者当事者が自立して立ち上がれるための支援
- 東京及び北関東地域との連携

いまできること

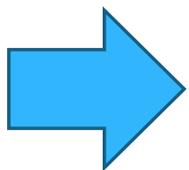
○ ハガキアンケートの結果

「何もありません」「大丈夫です」等の方にも、電話等でご意向を伺うとよろこんで来訪を待つ方が多かった。

○ 個々の方々はやはり誰かと繋がりたいという想いは強い。

○ 避難者・支援者ともに、スピーディに動きが取れず、
壁にぶつかっている。

○ 集いの会の話題が進展していないため、参加者が
減ってきている。



○ 戸別訪問の必要性

○ お互いの信頼・関係性・より強い絆を作ることが必要。

ぐんま暮らし応援会

住所：群馬県高崎市棟高町954-8

電話：027-333-1635 FAX：027-350-3192

皆様からのご支援お待ちしております。